

【委員会における議論のポイント】

今回の格付け結果は、D評価が3名、F評価が6名と、低い評価となった。

委員会における議論の最大のポイントは、本報告書2頁が外部調査委員会の調査報告書を非公表としたことの是非であった。

- ・非公表としたことの理由の説明が不十分ではないか
- ・外部調査委員会の調査報告書の都合のよい部分だけを恣意的に利用しているのはいか
- ・外部調査委員会の調査報告書に弁護士秘匿特権は及ばないのではないか
- ・独立性の高い第三者委員会と弁護士秘匿特権とは相容れないのではないか
- ・神戸製鋼所は外部調査委員会の調査報告書の全部を非開示とするのではなく、その一部でも開示することによって、説明責任をより果たすことができたのではないか
- ・外部調査委員会の調査報告書のうち、原因分析と再発防止策の点を開示したとしても、個別の法的責任追及には結び付かないのではないか

といった意見が持ち寄られ、各委員の個別意見の中に述べられている。

本報告書の内容面については、役員の関与や経営責任、ガバナンスの問題について調査不足ではないかという点では概ね意見の一致を見た。

他方で、原因分析と再発防止策の内容、本報告書の公共財的価値については、低い評価をする委員が多かったが、相応の評価をする委員も存在した。

以上